

「イエスを驚かせた信仰」

ルカの福音書7章1-10節

1

イエスは、耳を傾けている人々にこれらのことばをすべて話し終えると、カペナウムに入られた。時に、ある百人隊長に重んじられていた一人のしもべが、病気で死にかけていた。百人隊長はイエスのことを聞き、みもとにユダヤ人の長老たちを送って、自分のしもべを助けに来てくださいとお願いした。イエスのもとに来たその人たちは、熱心にお願ひして言った。「この人は、あなたにそうしていただく資格のある人です。私たちの国民を愛し、私たちのために自ら会堂を建ててくれました。」そこで、イエスは彼らと一緒に行かれた。ところが、百人隊長の家からあまり遠くないところまで来たとき、百人隊長は友人たちを使いに出して、イエスにこう伝えた。「主よ、わざわざ、ご足労くださるには及びません。あなた様を、私のような者の家の屋根の下にお入れする資格はありませんので。 ルカ7:1-6

2

ですから、私自身があなた様のもとに伺うのも、ふさわしいとは思いませんでした。ただ、おことばを下さい。そうして私のしもべを癒やしてください。と申しますのは、私も権威の下に置かれている者だからです。私自身の下にも兵士たちがいて、その一人に『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをしろ』と言えば、そのようにします。」イエスはこれ聞いて驚き、振り向いて、ついて来ていた群衆に言われた。「あなたがたに言いますが、わたしはイスラエルのうちでも、これほどの信仰を見たことはありません。」使いに送られた人たちが家に戻ると、そのしもべは良くなっていた。 ルカ7:7-10

3

百人隊長のへりくだり

- 「主よ、わざわざ、ご足労くださるには及びません。あなた様を、私のような者の家の屋根の下にお入れする資格はありませんので。ですから、私自身があなた様のもとに伺うのも、ふさわしいとは思いませんでした。ただ、おことばを下さい。そうして私のしもべを癒やしてください。」 ルカ7:6-7

4

百人隊長のへりくだり

- 「と申しますのは、私も権威の下に置かれている者だからです。私自身の下にも兵士たちがいて、その一人に『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをしろ』と言えば、そのようにします。」 ルカ7:8
- 「イエスはこれ聞いて驚き、振り向いて、ついて来ていた群衆に言われた。「あなたがたに言いますが、わたしはイスラエルのうちでも、これほどの信仰を見たことはありません。」 ルカ7:9

5

百人隊長のへりくだり

- 「悔い改めなさい。神の御国が近づいたから。」 マタイ4:17
- 「あなたがたの義が、律法学者やパリサイ人の義にまさっていないならば、あなたがたは決して天の御国に入れません。」 マタイ5:20

6

百人隊長のへりくだり

- あなたがたは古い人をその行いととも脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。新しい人は、それを造られた方のかたちにしたがって新しくされ続け、真の知識に至ります。 コロサイ3:9-10
- ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。 コロサイ3:17
- しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。 ガラヤ5:22-23

7

イエス様のへりくだり

- 「自分以外のものを頼るほどはかないものはない。しかし、その自分ほどあてにならないものはない。どうしたらいいのかわかるか。」 夏目漱石
- 「なぜあなたがたは、わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、わたしの言うことを行わないのですか。わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行う人がみなどんな人に似ているか、あなたがたに示しましょう。その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せても、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。しかし、聞いても行わない人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ています。川の水が押し寄せると、家はすぐに倒れてしまい、その壊れ方はひどいものでした。」 ルカ6:46-49

8

イエス様のへりくだり

- 「わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。」 ヨハネ 10:10
- 「神の御子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書いたのは、永遠のいのちを持っていることを、あなたがたに分からせるためです。」 1ヨハネ5:13

9

イエスを驚かせた信仰

- 百人隊長のへりくだった、現実的な信仰にイエス様は驚かれた。
- 現実的な信仰を宗教的な非現実的な信仰に変えてしまうことに注意。
- 神の現実、神の国の現実は、目に見えるこの世の現実より確かなものである。
- 神のみことばという土台の上に立つ信仰生活は何よりも確かなものである。

10